

ソースネクスト株式会社 2016年3月期第2四半期 連結累計期間事業報告書

2015年4月1日～2015年9月30日



ソースネクスト株式会社
代表取締役社長
松田 憲幸

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げることがミッションに、スマートフォンアプリやパソコンソフト等、お客様のご期待にそえる新製品の企画・開発に注力して参りました。当第2四半期連結累計期間は、Microsoft社の新OS「Windows 10」がリリースされたことで、当社の主力製品であるセキュリティソフトなどのパソコンソフトが好調に推移しました。これにより、第2四半期連結累計期間における営業利益、経常利益は、過去最高の業績となった2015年3月期上期を超えて、3年連続で過去最高となりましたことをご報告申し上げます。これもひとえに、皆様の励ましとご支援のおかげと感謝の念に堪えません。

2016年8月、当社は創立20周年を迎えます。皆様の多大なご支援、ご愛顧の賜物と深謝申し上げるとともに、引き続き、社名の由来でもある「次の常識をつくる」をスローガンとし、製品を通じて世界中の人々に喜びと感動を広げるべく、お客様視点で世界市場への展開を目指して参ります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしく御願申し上げます。

2015年12月

会社情報

会社の概況 (2015年9月30日現在)

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル6階
資本金	1,771百万円
従業員数	96名(臨時社員3名)
事業内容	コンピュータソフトウェア及び ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	松田 憲幸
代表取締役副社長	松田 里美
取締役	小嶋 智彰
取締役	青山 文彦
社外取締役	生田 正治
社外取締役	高澤 廣志
社外取締役	久保利 英明
常勤監査役	高野 正三郎
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	高野 角司

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,280,000株
発行済株式の総数	31,732,000株
株主数	3,962名

企業理念

社名の意味

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

行動指針

真剣に取り組む
ポジティブに考える
感性を磨く

ビジョン

世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい
喜ばれる
面白い

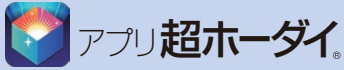
スマホアプリ

大手3キャリアのすべてにアプリを提供

ソースネクストは2012年より、スマートフォン用のアプリの企画・開発を強力に推し進め、大手3キャリアのすべてで、採用されています。そのタイトル数は33に達しています。

提供開始	キャリア	サービス名	提供アプリ数
2012年3月	KDDI(株)	「auスマートパス」	26
2013年6月	(株)NTTドコモ	「スコ得コンテンツ」	20
2014年8月	ソフトバンク(株)	「App Pass」	24

(2015年11月時点)



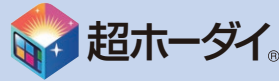
100種類を超える有料のスマホアプリが低料金で使い放題となるサービスです。



使い放題サービス

独自の使い放題サービスで、新しいビジネスを切り開く
さらに独自の使い放題サービス「超ホーダイ」「アプリ超ホーダイ」を、自社製品として販売するだけでなく、積極的なOEM提供により幅広い業種に販路を広げています。また、これらの仕組みを使い、販社の顧客層に合わせたアプリセットなども提供。例えば、お子様向けに有害サイトをブロックするアプリや学習アプリ10本からなる「子供パック」などが好評です。

使い放題サービス	用途・対象	提供先
「超ホーダイ」	パソコン用	インターネットプロバイダー、ケーブルテレビ会社
「アプリ超ホーダイ」	スマホ用	格安スマホ販売事業者、パソコンスクール、スマホ・パソコン販売業者 など



性能世界一のウイルス対策ソフト「スーパーセキュリティ」と120本以上の一般ソフトが使い放題のサービスです。



ユーザーサービス

1,200万人を超えるご登録ユーザー

ソースネクストでは2000年より、自社サイトでの通販やダウンロード販売を開始。製品を購入しユーザー登録されたご登録ユーザー数は、のべ1,200万人を超えています。ご登録ユーザー向けのサービスを充実させ、リピーターの拡大に力を入れることにより、現在では当社の最も大きな収益源となっています。



パソコンソフト

ソニー製品がジャンル・シェア第1位に

2015年4月にSony Creative Software社と国内独占販売の契約を締結し、従来のダウンロード販売に加え、6月に家電量販店チャンネルで、普及版に位置づけられる「Studio」シリーズを発売。わずか1カ月でシェア32%を獲得し、動画ジャンルで第1位を記録しました。さらに10月にはプロ仕様の「Vegas」シリーズなど5タイトルを投入しました。



Sony Creative Software社製品

新OS「Windows 10」で、ビジネスチャンスを広げ

2015年7月からマイクロソフト社の新OS「Windows 10」の無償配布が開始されました。当社のウイルス対策ソフト・ZEROシリーズは、対応するOSの公式サポート期間中、期限切れにならない製品。他社製品のように1年または3年ごとの更新料が発生しない代わりに、新しいOSでも使い続けるには、新たに料金が必要となります。「Windows 10」は2016年7月まで、無償配布されるため、多くのユーザーのアップグレードが予想され、当社にとっては、大きなビジネスチャンスです。

ZEROシリーズ 現在使用中のOSからWindows 10にアップグレードしても、そのまま使い続けられる既存ユーザー向けの「有効OS拡張サービス」の販売が好調です。



ZEROウイルスセキュリティのべご愛用者数940万人突破。累計3,000社以上の企業にご導入いただいています。



ZEROスーパーセキュリティ AV-Comparativesの「プロダクトオブザイヤー2014」を受賞したビットディフェンダー・エンジン搭載製品です。

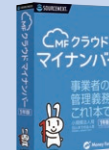
バックアップソフトの「Acronis」を新発売

2015年10月より、バックアップソフトの有名ブランドであるアクロニス社の「Acronis True Image Personal」を発売開始しました。これによりシステムバックアップの製品は、以前より発売している「Nova BACKUP」との2製品になりました。これらは米国の比較サイト「Top10 Review」の同カテゴリで第1位と第2位のブランドです。「Windows 10」の無償アップグレードに伴いバックアップソフトの需要や役割が増し、相乗効果が見込めます。



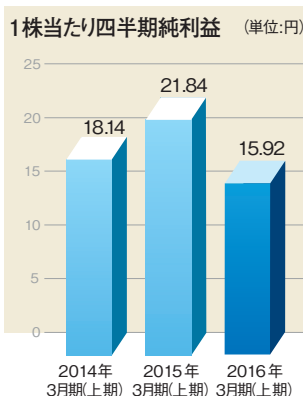
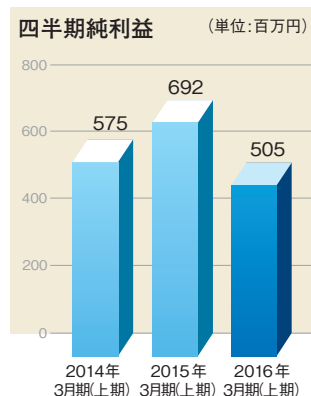
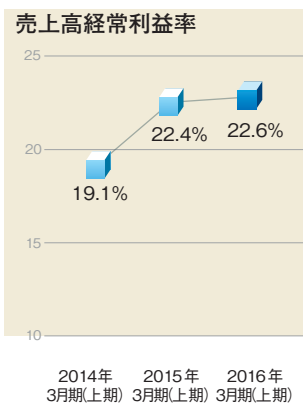
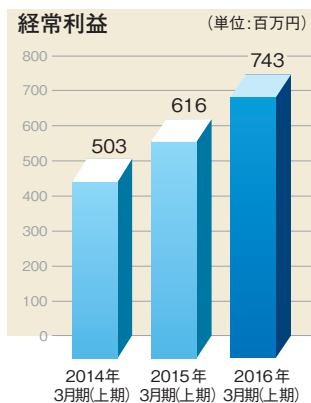
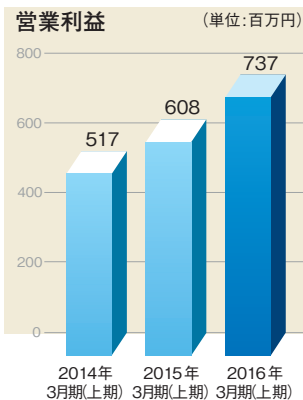
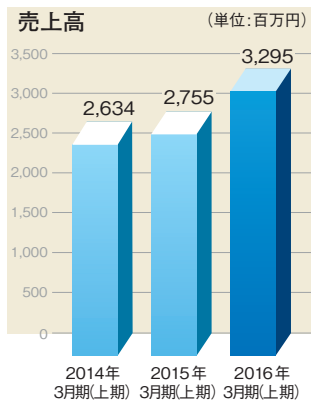
注目の「マイナンバー」関連の新サービス

2016年から施行されるマイナンバー制度により、事業者には新たな管理義務が発生します。それに対応するクラウドサービス「MFクラウドマイナンバー」を2015年10月に新発売しました。クラウド会計サービスで定評のあるマネーフォワード社の新サービスです。



財務ハイライト

四半期連結業績推移



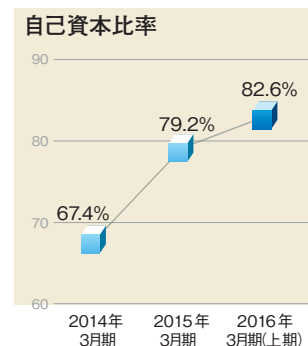
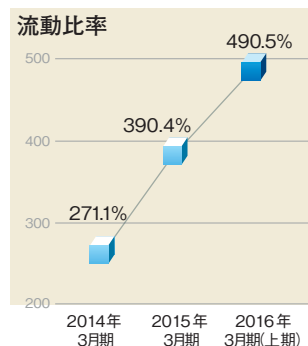
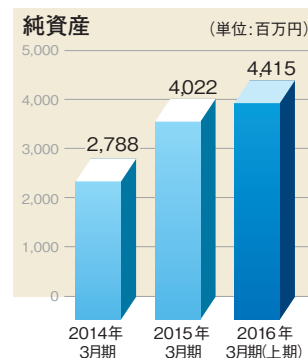
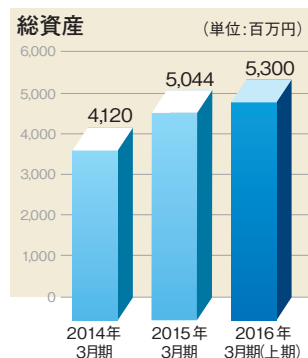
当期の概況

当第2四半期連結累計期間は、Microsoft社の新OS「Windows 10」対応版のパソコンソフト拡充と、スマートフォン向けアプリの開発および販売に注力して参りました。

パソコンソフトでは、当社の主力製品である「ウイルスセキュリティZERO」「スーパーセキュリティZERO」や、「筆王」の新OS対応版を発売しました。また、新OSへのアップグレードに伴って需要が高まっているバックアップソフト「Nova BACKUP」などの展開も強化しました。その他、自社eSHOPで好評を博したSony Creative Software社の高機能映像編集ソフト「Vegas」シリーズについて、国内初の独占販売を開始し、販売が好調に推移しました。

スマートフォン向けアプリ市場では、「auスマートパス(KDDI株式会社)」「スゴ得コンテンツ(株式会社NTTドコモ)」「App Pass(ソフトバンク株式会社)」の国内主要3キャリアにAndroidアプリを提供し、既存製品のバージョンアップと新製品の拡販に努めました。また、「アプリ超ホーダイ」はシニア・キッズなどにターゲット層を絞ったアプリセットや、協業企業向けに決済システムを提供するなど、拡販を推し進めて参りました。

その結果、営業利益は7億37百万円(前期比21.3%増)、経常利益は7億43百万円(前期比20.6%増)となり、上期としては、3年連続で過去最高益となりました。四半期純利益は、税務上の繰越欠損金が解消される見込みであることから、法人税及び事業税が増える見込みとなり、5億5百万円(前期比27.1%減)となりました。



連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

2015年9月30日現在 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,143,435	流動負債	844,792
固定資産	1,157,497	固定負債	40,913
有形固定資産	21,877	負債合計	885,706
無形固定資産	902,821	純資産の部	
投資その他の資産	232,797	株主資本	4,376,044
		その他の包括利益累計額	5,117
		新株予約権	34,063
		純資産合計	4,415,226
資産合計	5,300,932	負債純資産合計	5,300,932

四半期連結損益計算書

2015年4月1日から2015年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
売上高	3,295,584
売上原価	898,693
売上総利益	2,396,891
販売費及び一般管理費	1,658,968
営業利益	737,923
経常利益	743,951
税金等調整前四半期純利益	743,754
法人税等合計	238,450
四半期純利益	505,303

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2015年4月1日から2015年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,497,826


通期の見通し

2016年3月期の通期連結業績は、売上高68億89百万円(前期比13.1%増)、営業利益13億99百万円(前期比7.4%増)、経常利益14億6百万円(前期比7.2%増)、当期純利益9億5百万円(前期比25.5%減)を予想しております。

配当につきましては、前期の配当性向10%より5%増加した、予想配当性向を15%とする、1株当たり4円28銭を期末配当として実施する予定です。

下期につきましては、上期に続き、主力製品であるセキュリティソフト「ZERO」シリーズや「筆王」、「超ホーダイ」や「アプリ超ホーダイ」の拡販、およびスマートフォン向けアプリケーションの開発および販売に注力して参ります。また、米国に設立された子会社につきましても、海外優良製品の発掘および国内での販売をより一層強化して参ります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先)  0120-782-031 (インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html (株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について) 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 (特別口座について) 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	電子公告の方法により行ないます。 (http://sourcenext.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	4344
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部



ソースネクスト株式会社
〒105-0001
東京都港区虎ノ門三丁目8番21号
虎ノ門33森ビル6階
tel. 03-6430-6406(代表)

●Windows及びWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●iPhone、iPadはApple Inc.の登録商標です。●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

2015.12

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか？

A. セキュリティの「ZERO」シリーズです

「ウイルスセキュリティ」のご愛用者は累計940万人(※)を超えています。

(※)2015年9月時点

Q. スマートフォン向けアプリの人気タイトルは？

A. 「超電池」「驚速メモリ」「超便利ツールズ」「超ブルーライト削減」が人気です

KDDI(株)のauスマートパスでは超電池が52万、驚速メモリが153万、超便利ツールズが25万、ブルーライト削減が36万ダウンロードされるなど人気のアプリです。(株)NTTドコモのスコ得コンテンツや、ソフトバンク(株)のAppPassでも人気のタイトルです。

Q. 海外企業と業務提携をする目的は？

A. 世界中から良い製品を探し、最高の製品を提供するためです

そのためアメリカ、中国、インド、ルーマニア、バングラデシュなどの企業と提携し、有望製品が集まるシリコンバレーに現地法人を置いています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか？

A. 安定的に配当する方針を堅持して参ります

業績・配当性向、および中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。2015年3月期は、配当性向を10%として還元いたしました。当期はさらに配当性向を15%に増やす予定です。今後も、経営状況を勘案しながら、安定的に配当する方針を堅持して参ります。

Q. 今後の事業戦略は？

A. スマホアプリとパソコンソフトの資産を活かし、
多様な販売チャネルを維持・成長させていきます

スマホアプリとパソコンソフトの資産を活かし、多様な販売チャネルを維持・成長させていきます。国内大手携帯キャリア向けのスマホアプリ提供およびパソコンソフトの積極的な拡充に取り組むとともに、有力な知的財産権の取得を積極的に行ない、製品を継続的に改善してお客様満足度を高めることにより、利益額・利益率の向上を図ります。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか？

A. はい、コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしています。さらに法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる「企業倫理ホットライン」を設置、運営しています。